

特定非営利活動法人 東海自然学園  
平成30年度 総会議案書

日時：平成30年6月19日（火）13時30分  
会場：神田荘

議事次第

- 1、 開会
- 2、 代表理事挨拶
- 3、 議長選任
- 4、 審議事項
  - 第1号議案 平成29年度事業報告の件
  - 第2号議案 平成29年度収支決算報告の件
  - 第3号議案 平成30年度事業計画の件
  - 第4号議案 平成30年度収支予算計画の件
  - 第5号議案 定款変更の件
  - 第6号事案 平成30年度役員選任の件
- 5、 質疑及び討論・採決
- 6、 閉会

## <第1号議案>

# 平成29年度事業報告

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

### 【平成29年度方針】

『心をひとつに、新たな挑戦！！』

スタッフの人数が30名となり、これまで以上にスタッフ間の連携を高め、各担当部署にて新しい挑戦で活動を広げながら、学園の運営を盛り上げる。

- 各部署にて「新たな挑戦」を意識した年間計画をたて、各々が「挑戦」を念頭に活動することができた。
- 「新しい挑戦」を意識したことで、逆にこれまで蓄積してきた当学園の土台が、いかに大切であるかを感じる1年だった。
- 今年度中に挑めなかった挑戦もあるが、準備を整え引き続き来年度以降に挑戦する。

## ① 自然活動リーダーの養成講座事業

### 東海シニア自然大学 講座部

#### ■基礎科

●定員いっぱいの花組(35名)、星組(35名)で講座をスタートした。

●合宿・学園祭・修学旅行を含め、全30回の講座を実施した。

#### ◇実施日

- ・花組 第1・第3火曜日
- ・星組 第2・第4火曜日

#### ◇担当

- ・花組 スタッフ5名、アシスタント1名
- ・星組 スタッフ5名、アシスタント1名

#### ◇修了者・皆勤者数

- ・花組 33名 ◎1年間皆勤6名
- ・星組 31名 ◎1年間皆勤6名

#### ◇資格取得者(自然観察アドバイザー)

- ・花組(8名) ・星組(6名)

#### ◇内容報告

- ・休学者、退学者があるが、それぞれ個々の事情(健康上の理由など)によるものだった。
- ・全体的な出席率がよかった。(すべての講座が火曜日実施だったことも理由のひとつ)
- ・熱中症や転倒での怪我があった。事故後、全スタッフに当日の状況や担当スタッフの対処法について報告し、緊急時の対応手順について、全スタッフで確認・共通認識した。
- ・高等科への進学申請者が定員いっぱいの36名となった。→昨年度の反省を活かし、早めに高等科に関する情報を提供し、声掛けを積極的に行ったことが結果に繋がった。
- ・下記の講座は講師、フィールドの変更があったが、大きな問題なし。新しい講師の得意分野を活かした講座となり、受講生の評価も概ね良好であった。  
(変更理由:講師のスケジュールや受講生からの声、スタッフからの意見・提案など)  
【河川の生きもの】・・・鉄崎幹人先生:香流川 → 内田朝子先生:矢作川  
【野鳥入門】・・・森井豊久先生:藤前干潟 → 清水元一先生:牧野ヶ池緑地
- ・合宿宿泊先である「おんたけ休暇村」が来年度以降使用できない可能性が高いため、早めに対応策を考え、計画的に進める必要がある。

## ◇委員会活動

### 【企画委員会】

- ・ **花組** 〈日帰り企画〉 9/26 (火) 名古屋大学 (ノーベル賞展示室・博物館・他) 懇親会 (28名参加)  
〈修学旅行〉 白川郷の見学、トヨタ白川郷自然学スノートレッキング他 (25名参加)
- ・ **星組** 〈日帰り企画〉 9/19 (火) 赤沢自然林トロッコ電車、自然散策、懇親会 (27名参加)  
〈修学旅行〉 蕎麦打ち、尖石縄文考古館、蓼科八ヶ岳自然学校スノーシュー (23名参加)

### 【観察記録委員会】

- ・ 両クラスともに個人の観察記録を立派な冊子に仕上げ、報告会にて発表した。

### 【学園祭委員会】

両クラスともに委員会を中心にクラス全体で取り組み、ステージ発表、展示、ワークショップに挑戦した。ステージ発表では班ごとに歌、クイズ、劇、研究発表など、様々な切り口で自然をテーマにした発表があり、学園祭を大いに盛り上げた。

●実施日：11月16日(木)・17日(金)

●会場：愛・地球博記念公園内 地球市民交流センター

- ・ **花組** 〈ステージ〉『各班での観察報告及び関連クイズ』  
〈展示〉『私たちのクラフト作品と鳥の写真』  
〈ワークショップ〉『押し花アート』～しおり・コースター～
- ・ **星組** 〈ステージ〉『自然を学び、自然を楽しもう』  
〈展示〉『トレッキングとウォーキング時の楽しみと危険』  
〈ワークショップ〉『自然素材を使った楽しいリース作り』

## ■高等科

●27名の受講生でスタートし合宿・学園祭・修学旅行を含めて全30回の講座を実施した。

◇実施日 金曜日

◇担当 スタッフ(4名)

◇修了者数

- ・ 25名 ◎2年間皆勤者(3名) ◎1年間皆勤者(9名)

◇資格取得(自然観察上級アドバイザー)

- ・ 11名

◇実施内容

- ・ 1年間を通して事故やトラブル等の問題などなく、安全に全講座を実施することができた。
- ・ 下記の講座を変更した。(変更理由：講師の急逝、受講生からの声やスタッフからの提案)
  - ①【地質巡り①と②】  
鈴木和博先生：西浦海岸(②) → ●足立守先生：知多半島(②)
  - ②【昆虫と菌類の共生】 ※「森の健康診断」講座の代わりに新しい講座として加わった  
●梶村恒先生：稲武名大演習林
  - ③【身近な野鳥】  
川島賢治先生：豊田市自然観察の森 → ●清水元一先生：岩藤新池

## ◇委員会活動

### 【企画委員会】

- ・ (日帰り企画) 9/1 (金) モンキーパークでの座学&園内ガイド (23名参加)
- ・ (修学旅行) 3/15・16 柿田川湧水・伊豆半島ジオパーク・葦山反射炉 他 (23名参加)

### 【観察記録委員会】

- ・ 委員会が中心となり全員の観察記録を冊子にまとめ完成させた。

### 【学園祭委員会】

第6回学園祭のテーマ「自然を学び、自然を楽しもう！」を決定し、委員会メンバーを中心に盛り上げた。

●実施日：11月16日(木)・17日(金)

●会場：愛・地球博記念公園内 地球市民交流センター

- ・ 〈ステージ〉『私が楽しんでいる自然』

- ・〈展示〉『私が楽しんでいる自然』
- ・〈ワークショップ〉『作ってあそぼう!』3種類（魔法の筒、ペーパーホイッスル、かみつきハブ）

## ■カリキュラム選択科

今年度は下記の科目に選択科参加があった。

- ・「湿地を知る」北山湿地 1名
- ・「身近な野草」義朝の森 1名
- ・「地質めぐり①」名古屋城 2名
- ・「昆虫と菌類の共生」稲武 4名
- ・「地質めぐり②」知多半島 2名
- ・「インタープリテーション①」東山動物園 2名
- ・「身近な哺乳類」鳳来寺山 2名
- ・「どんぐりをとことん極める」豊田市自然観察の森 1名
- ・「身近な野鳥」岩藤新池 1名

## ■専修科

◇担当 3名

◇実施内容

- ・計画通り合計7講座、12日の講座を開催した。（内1泊講座2回）
- ・前年に比べ、1講座増（2講座新設、1講座廃止）の見直しを行った。  
その結果、新設講座の応募者は定員を大幅に上回ったが、継続講座では2講座が若干（各1名）定員割れとなった。
- ・欠席者は、平均2.5名（欠席率12%）、最大6名（30%）で、前年より改善されたが不十分である。
- ・受講生の安定的な確保と欠席者の低減が継続的な課題である。

## 広報

◇担当 スタッフ（4名）、サポート隊（2名）

サポート隊との連携により、前向きに取り組むことができた。「パンフレット発送作業」「イオン・イエローレシート活動」「環境デーなごや」の参加により15期生募集、学園の知名度アップに繋げていくことができた。担当以外のスタッフ・会員の協力も大きかった。

◇実施内容

《15期生募集》

- ・前年度の15期生応募待機者が10名あった。15期生の募集を70名から72名に変更した。15期生申し込みが昨年よりさらに早く、1月12日に定員72名に達した。
- ・中日新聞元旦広告2部テレビ欄1面に掲載され、反響は良かった。
- ・パンフレットをA4版/20,000部、A5版/2,000部注文した。パンフレット設置場所を見直し、一回目は6月に、二回目は11月に発送し、随時補充した。
- ・体験入学の時期を早めた。12月14日（23名参加）と1月25日（24名参加）の二回実施。一回目は小幡緑地公園、二回目は中村公園で行った。1期生の櫻井先生から「冬の森の楽しみ方」を半日体験していただいた。

《学園広報活動》

- ・イオン・黄色いレシート活動は二年目で、引き続き「イオン・ナゴヤドーム前店」と「マックスバリュ・有松駅前店」に登録。イオン・ナゴヤドーム前店の店頭活動は10回参加できた。会員からのレシートの協力も大きかった。その結果52,400円分のギフトカードをいただき、文房具・工具・救急用品等と引き換えさせていただいた。
- ・「環境デーなごや」には広報活動を目的として参加した。三択クイズ・粗品・展示物等を作成・展示した。パンフレットは雨にも関わらず、クイズ参加者中心に説明を加えながら200部程手渡しできた。
- ・HPのお知らせ欄やブログは月一回程度順調に更新されている。

- ・ 日本自然保護協会「ネイチャーナビ」と中日新聞「行催事案内」に天白公園観察会や学園祭、体験入学、基調講演等を依頼し、そのうち8回程掲載された。

## ② 普及啓発事業

### 環境教育部

#### ■環境教育科

◇担当 4名

◇科員 36名

◇目的

自然の仕組みや魅力、楽しさや大切さを伝える。

◇今年度の年間目標

- ・ 目標① 新たな技術やアイデアを生み出すため、講習会や見学会などの時間をつくる。
- ・ 目標② 新たな作品作りの幅を広げるため、材料（素材）の確保、保存に力を入れる。
- ・ 目標③ 過去の作品を他の方に見てもらえるような場を設ける。

◇実施内容

- ・ 定例活動・・・17回（第2・第4水曜日）

◇年間活動実績

#### 参加した受託事業や行事

- ・ 科学館ワークショップ 【6/25日】
- ・ 大垣共立銀行（茶屋が坂支店）での作品展示 【5/22月～6/23金】
- ・ 大曾根商店街七夕まつり 【7/28金～7/30】
- ・ 戸田川「秋まつり」 【10/7土～10/9月】
- ・ 学園祭作品展示 【11/16木～11/17金】
- ・ 障害福祉施設での工作教室 【12/6水】
- ・ 船方小学校トワイライト 【12/16土】
- ・ なごや環境大学「共育講座」～ひょうたんランプ～ 【10/25・11/22・1/31・2/14】

#### 実施した研修

- ・ 素材採取 in 築水の森 【1/24水】
- ・ 竹工作の研修会 【2/28水】

◇目標の達成度

#### ◆ 目標①新たな技術やアイデアを生み出すため、講習会や見学会などの時間をつくる。

- ・ 昨年度も掲げた目標だが、昨年度達成できなかったため再度目標に掲げた。
- ・ 春から秋にかけては行事が多く、その準備作業に追われるため、なかなか自分たちの技術向上に当てる時間がないが、冬の時期に素材採取や自分たちの技術向上につながる研修時間を作ることができた。
- ・ 毎回、個々の新作発表や情報交換の時間を作り、互の技術や情報に刺激をうけ合っているのは良い。新作を生み出し、ワークショップでの出展に繋げるのは難しいため、コツコツとアイデアを蓄え続け、そこから新作実現に繋げることが理想。

#### ◆ 目標②今後の新たな作品作りの幅を広げるため、材料（素材）の確保、保存に力を入れる。

- ・ 他の部にご協力いただき、枝や竹材などの素材を確保することができた。
- ・ 築水の森を歩きながら、木の実や種などの素材採取をすることができた。
- ・ 具体的に必要な木の実があるときには、メンバーに声をかけ個々に採取いただいた。
- ・ 竹材や木材は冬の時期に確保する必要があるが、今年度も確保できなかった。（確保してもその保管場所がない。）
- ・ 竹材の保管法について様々な方法を試してみているが、カビや割れなどが発生し、保管が

難しい。

◆ 目標③過去の作品を他の方に見てもらえるような場を設ける。

- ・ 「過去の作品も見たい。そこから新たな作品へのヒントも生まれる。」という新しいメンバーからの声で、作品の展示を目標に掲げ新たな挑戦として「大垣共立銀行」での作品展示を実現することができた。1ヶ月の長期間展示させていただき、多くの方の目に触れたと思われるが、その反応や感想を直接得ることができなかったのは今後の課題。

◇今年度の前進面

- ・ ②に記した通り、年始に掲げた目標3つを、ほぼ達成することができた。
- ・ 大きな怪我やトラブルなどなく、安全に活動することができた。
- ・ 学園外での作品展示や障害福祉施設での工作教室など、新しいことに挑戦し、自分たちの活動範囲を広げることができた。

◇今年度の問題点

- ・ 倉庫がないため材料確保（保管）ができない。早急に倉庫を確保したい。
- ・ 本番での人材不足。土日に開催される行事などは特に、当日スタッフが少ないことがあるため、呼びかけや工夫が必要。

◇来年度に向けての提案

- ・ 機械や道具の扱い方の見直し。（安全第一）
- ・ これまでの作品実績を、いつでも誰でも解るように整理する。（作り方・材料・写真等のデータ整理）

③ 調査研究事業

研究部

■ 自然観察科

レギュラーコース4年卒業制を導入し、「レギュラーコース（在籍4年以下）」と「キャリアコース（在籍5年以上）」に分割してそれぞれに運営。

レギュラーコース

- ◇実施日 第2・4月曜日
- ◇担当 3名
- ◇人数 33名（新規4名）
- ◇目標 お互いに学びあい知識を深める。

◇活動内容

●年21回の活動日数。

昨年同様4班体制で、各班、座学2回・フィールド3回。

- ・ 内フィールド1回台風で中止。延期したが、貸し切りバスを利用するに十分な人数が集まらなかった。
- ・ 内キャリアコースとの合同懇親会1回。

●座学発表テーマ

- ・ 私が学んだ自然、私の自然観察、私が気になること、自然に学ぶ、フィールド観察会に関わること

●フィールド

- ・ 陶史の森・築水の森・葦毛湿原・小幡緑地2回・海上の森2回・段戸裏谷・森林公園・愛知県緑化センター・勅使池

◇総括

出席率75.4%

座学発表も、フィールドは下見も含め、お互いに学びあえる活動内容であった。

各期混合の班編成は、班長を中心に活動を進めるごとにまとまっていった。

観察科員が前年度より11名減。増員対策が必要か検討。積極的勧誘不要となった。

## キャリアコース

- ◇実施日 毎月第2・第4月曜日
- ◇担当 2名
- ◇会員数 20名（新規会員12名）
- ◇実施内容

◎年間活動日数（25日）

- 【内 訳】 ◎フィールド14日 ◎座学 合同1回  
◎天白公園観察会 下見を含み6日  
◎受託講座 下見を含み4日

- 【フィールド】 ◎竜吟の森 ◎各務原自然遺産の森 ◎陶史の森  
◎小幡緑地 ◎伊吹山 ◎鬼崎海岸 ◎海上の森  
◎城山 ◎長良川ふれあいの森 ◎勅使池

◎天白公園観察会開催

天白公園整備クラブと共催にて3回実施

◎基礎科の講座を受託

- ◎テーマ 「冬の森の観察」  
◎場所 築水の森 青少年自然の家周辺  
◎実施日 2月13日 星組 2月20日 花組

◎総括

- ◎新会員を迎え活動が和やかに進んだ。
- ◎1年間を通して出席率が良かった（約90%）。
- ◎受託講座を受け緊張も有ったが勉強になった。

## ④政策についての企画提案事業

## 事業部

### ■新規事業科

- ◇担当 6名
- ◇実施内容

- ① イオン環境財団に瀬戸里山整備科と森林公園整備科の活動の助成をお願いし、整備の指導を受けることができ道具類を充実できた。（助成金：37万円）
- ② 「JAなごや」には平成28年度にイベントの提案したものの、応募者が満たなく中止となったが、継続してコンタクトをとりながら次年度以降への参加に足掛かりを作った。
- ③ 当学園の卒業生が、各地区で自然保護活動をしている実態をアンケート調査し、77名、65組織の皆さんから回答を得た。OBの皆さんが幅広く活動されている状況が把握でき、今後の学園の運営に活かす足掛かりができた。

## 交流部

- ◇担当 4名

### 【OBツアーの実施】

- ◇実施日 平成29年10月31日（火）
- ◇行先 下呂市小坂町の巖立峡
- ◇ガイド NPO法人飛騨尾坂200滝（3名）
- ◇参加者 OB（40名）+スタッフ3名引率 [大型バスほぼ満席]
  - 大型バス満席の43名。快晴に恵まれ事故トラブル等もなくスケジュール通り実施できた。
  - 参加者間（1期生から13期生）の交流が図れたと好評を得た。（バス車中もゲーム）
  - アンケートでは36名が「満足」との回答をくださった。

- 次回も参加したいとの希望が多数あった。(アンケート)

[来年度に向けての改善点]

- 1泊でと希望が多数あり検討してみる。
- 会費の還付が無いように計画する。
- 休憩・食事等の時間的な配慮を計画する。

## 【クラブについて】

### ◇今年度の実績

- ① 今年度より新クラブ（ハイキングクラブ）が誕生し、合計10クラブとなった。クラブへの登録者数は延413名。
- ② 各クラブが年初の計画通り順調に運営され、事故やトラブルなど無し。
- ③ 学園祭には8つのクラブがブース出展で参加し高評を得た。
- ④ 7月25（火）クラブ長会議を開催し、各クラブ長からの意見・提案等協議した。

### ◇目標と達成

会員数の増加に伴いクラブの増加を模索したが出来なかった。

### ◇来年度の向けての改善策

新規クラブの立ち上げをPRしてクラブ増加を推進する。

### ◇各クラブの活動報告

#### 「野鳥クラブ」

●クラブ長 石原 哲男（10期生） 登録人員（32名） 会費1,000円/年

#### ●活動方針

- ・探鳥会を年に四回開催を計画すると共に、懇親会を合せて計画し親睦・交流を進める。
- ・野鳥観察への興味と好奇心を刺激するための「素人向け講座・座学」を別途企画する。
- ・探鳥会には適宜案内人を依頼する。
- ・秋の学園祭にクラブとして出展する、そのための準備を夏ころから始める。

#### ●活動状況

- 5/14「海上の森」 ○8/8「第1回座学初級講座・親睦会」 ○1/8「勅使池」  
○2/22「岡崎公園」 ○3/20「平針」・総会

#### 「写真クラブ」

●クラブ長 嶋田 茂雄（9期生） 登録人員（64名） 会費1,000円

#### ●活動方針

- ・自然の景観・生物、これを取り巻く生活環境等を撮影し作品作りを楽しむ。
- ・活動への参加を通じて会員相互の交流と親睦をはかる。

#### ●活動状況

- 4/19「東谷山フルーツパーク」 ○5/2「東三河ふるさと公園」  
○5/16「初歩の写真教室」 ○5/30「東山動植物公園」 ○6/21「パソコン操作」  
○7/21「入笠山」 ○2/7「掛川・花鳥園」

#### 「自然体験クラブ」

●クラブ長 長田 孝義（12期生） 登録人員（52名） 会費1,000円

#### ●活動方針・目標

- ・広く、浅く、楽しく、自然を五感で感じることを目指す。
- ・今年度は5回の行事とし執行部が企画立案するが魅力的な企画が提案されれば差し替える。
- ・基本的な実施日を第3木曜日とするが場合によっては変更する。

#### ●活動状況

- 4/20総会と愛知県陶磁美術館で作陶教室  
○6/5恵那のササユリと野草園・酒蔵の見学  
○9/21西村自然農園で「自然の恵み」 ○11/20近江八幡の舟遊びと街並見学  
○2/15東山植物園で早春を感じる、

#### 「地質クラブ」

●クラブ長 福岡 潔（8期生） 登録人員（69名） 会費1,000円

●活動方針

- ・身近な自然の成り立ちを観察する。

●活動状況

- 6/28「名大博物館 球状コンクリーション」 ○10/31「新城市長篠地区」
- 1/26「三重県総合博物館」 ○3/23「多度山の地層観察」

「植物クラブ」

- クラブ長 梅木 和泰（12期生） 登録人員（65名） 会費1,000円

●活動方針・目標

- ・「とにかく楽しく、少し知的な好奇心をくすぐる観察会」を企画する。

●活動状況

- 5/23「飯田ハナノキ湿地」 ○6/9「天生湿原」 ○7/21「入笠山」
- 7/28「豊田自然観察の森」 ○8/10「伊吹山」 ○9/4「木曽福島城山」
- 9/22「明智の森」 ○11/22「小原村・香嵐溪」 ○3/7「東山植物園・総会」

「植物アートクラブ」

- クラブ長 加藤 恭子（11期生） 登録人員（13名） 会費2,000円

●活動方針・目標

- ・絵を描くことに基礎はありません、絵を描きたいという気持ちが基礎です、従って描いた絵の評価は自分自身でしか出来ません、完成した絵は、毎日見ていろいろのことを考え、感じて楽しむことです。

●活動計画

- ・植物の特徴をとらえ、それを描くことにより表現の楽しさを知る。
- ・月毎の課題に沿って作品を仕上げる。
- ・全員の作品を鑑賞し、講師の講評・助言を通し作品の質を高め、また親睦を図る。

●活動状況

- 4/27「カーネーション」 ○5/25「野外でスケッチ」
- 6/22「ベニバナ」 ○7/27「唐辛子」 ○8/24「各自持参」
- 9/28「トルコキキョウ」 ○10/12「白鳥庭園・親睦会」
- 10/26「ミニバラ」 ○11/9「ミニカーネーション」 ○12/21「葉ボタン」
- 1/25「各自持参」 ○2/22「スイートピー・コデマリ・花桃」
- 3/22「模写」

「ふふふ キラキラクラブ」

- クラブ長 清水 修（7期生） 登録人員（55名） 会費1,000円

●活動方針・目標

- 活動の目的であります『ふふふ』の笑顔を持って会員相互の交流と親睦をはかり、『キラキラ』と輝く人生を見つけましょう。

●活動状況

- 7/1「犬山城・有楽苑 二つの国宝散策」 ○11/25「白鳥庭園紅葉散策」
- 3/25「各務原自然遺産森 早春の里山散策」

「自然句詠クラブ」

- クラブ長 石橋 信義（9期生） 登録人員（21名） 会費1,000円

●活動方針・目標

- ・自然を愛（め）で、その感動を575（俳句）に表現し楽しむ。
- ・メンバー同士で和気藹々と交流し親睦する。

●活動状況

- ・定例句会をイーブル名古屋で開催した。
- ・年3回（春夏秋冬）吟行を開催した
- 7/31「大須」 ○11/29「桑名 六華苑」 ○3/30「荒子川公園・名古屋競馬場」

「湿地クラブ」

- クラブ長 加藤 樽鋼（10期生） 登録人員41名 会費1,000円

●活動目標

- ・身近な水辺の四季を観察
- ・「海上の森」の湿地定点観察会（湿地動植物および昆虫）
- ・その他観察会（珍しい湿地植物の観察）

#### ●活動状況

- 4/3「海上の森」 ○5/29「大狭間湿地」 ○6/27「海上の森」
- 7/25「池ノ河内湿原」 ○8/24「御池沼沢植物群落」 ○9/15「海上の森」
- 10/6「矢並湿地」 ○1/31「勅使池」

#### 「ハイキングクラブ」

- クラブ長 栗田 博之（13期生） 登録人員（58名） 会費1,000円

#### ●活動目標

- ・自然観察及び散策、町の歴史探訪を通して自然・歴史にふれあい知識を高める。
- ・体力の維持及び増進。
- ・活動への参加を通じて会員相互の交流と親睦をはかる。

#### ●活動状況

- 8/22「蒲郡ハイキング」 ○11/15「多度山ハイキング」
- 1/16「名古屋科学館と堀川散策」 ○3/22「鵜沼宿と犬山、城下町散策」

## ⑤自然環境保全事業

### 自然保護部

#### ■森林公園整備科

- ◇活動日 第2・第4木曜日
- ◇科員数 34名
- ◇年間活動日 16日（延べ353名）
- ◇活動内容

- 整備地（8.2ha）の内B地区の森林整備活動を実践した。
- 作業内容
  - ・除伐 ・希少植物の保護 ・下草除去 ・枯葉・落葉整備
  - ・ロープワークの学習 ・安全作業マニュアルの徹底
  - ・ヒヤリハットの検証及び事故防止対策の協議
- イオン環境財団より助成金をいただき、ノコギリなど治工具類、掛り木除去等の安全対策費、大型の道具箱など整理用品の購入費、及び安全講習と植物園の入場費などに充当。より安全で高度な整備活動を遂行することができた。
- 整備作業の他に、過去に保護した地区の見学・植物園内の観察を実施。
- 日本赤十字講師による安全講習を実施した。

#### ■瀬戸里山整備科

整備地1.5haをイオン環境財団の助成金を活用し、整備作業に支障をきたす、コナラ等の枯れ木の除伐を中心として行った。安全作業マニュアルを整備し安全作業に努め、怪我などなく作業が実施できた。

- ◇実施日 第3土曜日、但し雨天の場合は、予備日第4土曜日
- ◇登録者 20名
- ◇活動場所 瀬戸市曾野町
- ◇年間活動日 9日（述べ参加人数・・・109名）
- ◇活動内容

- ① 安全作業を最優先とし、作業前、作業後のヒヤリハットを徹底。
- ② 助成金講座を3回実施し、枯れ木の太木を約70本伐採。作業場の安全が確保され

た。

- ③ 活動報告書を作成。
- ④ ロープワークの実習。
- ⑤ 学園祭への出展⇒一部課員による出展。

**⑥その他目的を達成するために必要な事業**

該当事業なし

# ＜第2号議案＞ 平成29年度収支決算報告

## 平成29年度（第11期）活動計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人東海自然学園

科 目	金額（単位：円）		備考
<b>I 経常収益</b>			
<b>1 受取会費</b>			
正会員受取入会金	0		
正会員受取会費	150,000		
利用会員受取会費	1,221,000	1,371,000	年会費（30名*5千円） 年会費（407名*3千円）
<b>2 受取寄付金</b>			
受取寄付金	517,786	517,786	あいおい損保（39万円）、個人
<b>3 受取助成金</b>			
受取助成金	370,000	370,000	
<b>4 事業収益</b>			
自然活動リーダー養成講座事業収益	9,872,473		
普及啓発事業収益	333,500		
調査研究事業収益	0		
政策についての企画提案事業収益	53,668		
自然環境保全事業収益	0		
その他目的達成するための事業収益	0	10,259,641	受講料、参加費等 受託料等
<b>5 その他収益</b>			
受取利息	706		
雑収入	0	706	
<b>経常収益計</b>			12,519,133
<b>II 経常費用</b>			
<b>1 事業費</b>			
(1) 人件費			
給料手当	3,509,200		
通勤手当	139,200		
法定福利費	601,726		
<b>人件費計</b>	4,250,126		
(2) その他経費			
講師謝礼金	1,702,000		
教材費	215,176		
会場費	491,090		
広報費	435,084		新聞広告の掲載費
リーフレット代	335,880		パンフレット（21,500部）
講師交通費	74,902		
スタッフ交通費	1,968,950		バス代
活動交通費	101,285		
消耗品費	410,624		
家賃	680,000		事務所家賃
接待交際費	33,258		手土産他
水道光熱費	108,482		
コピー機維持費	237,698		
保険料	377,164		NPO活動総合保険
通信運搬費	619,749		郵送費、通信費
諸会費	10,160		
雑費	16,300		
<b>その他経費計</b>	7,817,802		
<b>事業費計</b>		12,067,928	
<b>2 管理費</b>			
(1) 人件費			
給料手当	166,400		
<b>人件費計</b>	166,400		会計担当給与
(2) その他経費			
セキュリティー料	84,240		
事務用品費	50,788		
租税公課	248,080		消費税等
支払手数料	80,920		税理士報酬等
雑費	0		
<b>その他経費計</b>	464,028		
<b>管理費計</b>		630,428	
<b>経常費用計</b>			12,698,356
<b>当期経常増減額</b>			△ 179,223
<b>III 経常外収益</b>			0
<b>IV 経常外費用</b>			0
<b>当期正味財産増減額</b>			△ 179,223
<b>前期正味財産額</b>			7,720,941
<b>次期繰越財産額</b>			7,541,718

## 平成29年度(第11期)貸借対照表

平成30年3月31日現在

特定非営利活動法人東海自然学園

科 目	金 額 ( 単 位 : 円 )		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	19,753,428		
前払金	144,910		
未収入金	0		
流動資産合計		19,898,338	
2 固定資産			
敷金	100,000		
固定資産合計		100,000	
資産合計			19,998,338
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	373,582		
前受金	12,001,000		
預り金	82,038		
流動負債合計		12,456,620	
2 固定負債			
借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			12,456,620
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産額		7,720,941	
当期正味財産額		△ 179,223	
正味財産合計			7,541,718
負債及び正味財産合計			19,998,338

## 平成29年度(第11期)財産目録

平成30年3月31日現在

特定非営利活動法人東海自然学園

科 目	金 額 (単位:円)
I 資産の部	
1 流動資産	
現金 現金手元有高	41,992
普通預金 三菱東京UFJ銀行植田支店	12,788,947
普通預金 ゆうちょ銀行	4,918,695
定期預金 三菱東京UFJ銀行植田支店	2,003,794
前払費用 次年度会場費等	144,910
未収入金	0
流動資産合計	19,898,338
2 固定資産	
敷金 事務所賃借敷金	100,000
固定資産合計	100,000
資産合計	19,998,338
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金 3月分給与・社会保険料・交通費等 講師謝礼金等	373,582 0
前受金 次年度分受講料、年会費、助成金	12,001,000
預り金 源泉所得税、社会保険料	82,038
流動負債合計	12,456,620
2 固定負債	
借入金	0
固定負債合計	0
負債合計	12,456,620
正味財産合計	7,541,718

## 平成29年度（第11期）財務諸表の注記

特定非営利活動法人東海自然学園

### 1 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日、2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会）による

### 2 事業費等の内訳

（金額単位：円）

科目	自然活動リーダー 養成講座	普及啓発事業	調査研究事 業	政策についての 企画提案事業	自然環境保 全事業	その他の事業 達成するための 事業	事業部門計	管理部門	合計
(1) 人件費									
給料手当	2,807,360	421,104	35,092	210,552	35,092	0	3,509,200	166,400	3,675,600
通勤手当	111,360	16,704	1,392	8,352	1,392	0	139,200		139,200
法定福利費	481,379	72,207	6,017	36,104	6,017		601,726		601,726
人件費計	3,400,099	510,015	42,501	255,008	42,501	0	4,250,126	166,400	4,416,526
(2) その他の経費									
講師謝礼金	1,542,000	70,000			90,000		1,702,000		1,702,000
教材費	193,558	20,618			1,000		215,176		215,176
会場費	413,000	75,090	100	1,800	1,100		491,090		491,090
広報費	348,067	52,210	4,351	26,105	4,351		435,084		435,084
リース料代	268,704	40,306	3,359	20,153	3,359		335,880		335,880
講師交通費	57,902	9,000		0	8,000		74,902		74,902
スタッフ交通費	1,880,180	80,506	33	198	8,033		1,968,950	0	1,968,950
活動交通費（バス代）	101,285						101,285	0	101,285
消耗品費	165,419	50,962	30	183	194,030		410,624	50,788	461,412
諸会費	8,128	1,219	102	610	102		10,160	0	10,160
家賃	544,000	81,600	6,800	40,800	6,800		680,000	0	680,000
接待交際費	26,606	3,991	333	1,995	333		33,258		33,258
水道光熱費	86,786	13,018	1,085	6,509	1,085		108,482		108,482
コピー機維持費	190,158	28,524	2,377	14,262	2,377		237,698		237,698
保険料	301,731	45,260	3,772	22,630	3,772		377,164	84,240	461,404
通信運搬費	495,799	74,370	6,197	37,185	6,197		619,749	0	619,749
租税公課	0	0	0	0	0		0	248,080	248,080
支払手数料	0	0	0	0	0		0	80,920	80,920
研修費	0	0	0	0	0		0		0
雑費	13,040	1,956	163	978	163		16,300	0	16,300
<b>その他経費計</b>	<b>6,636,364</b>	<b>648,629</b>	<b>28,701</b>	<b>173,407</b>	<b>330,701</b>	<b>0</b>	<b>7,817,802</b>	<b>464,028</b>	<b>8,281,830</b>
<b>経常費用計</b>	<b>10,036,463</b>	<b>1,158,644</b>	<b>71,202</b>	<b>428,415</b>	<b>373,202</b>	<b>0</b>	<b>12,067,928</b>	<b>630,428</b>	<b>12,698,356</b>
参考（配布率）	0.8000	0.1200	0.0100	0.0600	0.0100	0	1.00		

監査報告書（別紙貼り付け）

## <第3号議案>

# 平成30年度事業計画

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

## 【平成30年度方針】

### ◎ 『会員間の繋がりを深め、その力を活かした活動を！』

15年間の活動継続により会員数が450名を超えた。ここで改めて会員間の距離を縮め、互いに協力し合うことで何か新しい力を起こすきっかけをつくり、活動の幅を広げる。

## ① 自然活動リーダーの養成講座事業

### 東海シニア自然大学 講座部

#### ■基礎科

- ・担当スタッフの連携を深め、連絡を密にし、充実した内容で安全に運営する。
- ・合宿を含め、講師やフィールドの変更が必要な科目は全担当スタッフで事前の下見や打ち合わせをし、スムーズに当日が迎えられるよう進める。
- ・進路説明のタイミングや方法を工夫し、高等科への進学率を高める。

◇担当 8名 (+アシスタント4名)

◇人数 全72名 (2クラス)

◇実施日 年間30日間 (隔週金曜日)

#### ◇計画内容

- ・年間カリキュラムの運営・進行・安全管理。
- ・学園祭に向けてクラスの取り組み。
- ・各委員会の活動支援。
- ・振り返りなど受講生の評価を参考に、カリキュラムの改善や見直し。
- ・記録、報告書の作成。

#### ■高等科

- ・担当スタッフの連携を深め、連絡を密にし、充実した内容で安全に運営する。

◇担当 5名

◇人数 36名

◇実施日 火曜日 (不定期)

#### ◇計画内容

- ・年間30日間のカリキュラムの実施。
- ・学園祭に向けて、クラスの取り組みを支援するとともに基礎科への支援。
- ・各委員会の活動支援。
- ・振り返りなど受講生の評価を参考に、カリキュラムの改善や見直し。
- ・記録、報告書の作成。

#### ■カリキュラム選択科

- ・高等科受講生を含め40名を最大人数とし、それ以上の希望がある場合は抽選とする。

#### ■専修科

新しい2講座を加えた年間カリキュラムを安全最優先で計画通り運営する。

◇担当 4名

- ◇定員 各 20 名 (一部 17 名)
- ◇実施日 不定期
- ◇実施内容 年間 8 講座 (前年比+1 講座) 13 日 (前年比+1 日)

〈カリキュラム〉

- ① 足立先生と歩く名古屋自然誌ウオーク・・・・・・・・・・ 1 回
- ② 白山振興の里、石徹白を観る・・・・・・・・・・ 1 泊 2 日
- ③ 乗鞍&千石園地で学ぶ高山・亜高山植物・・・・・・・・ 1 泊 2 日
- ④ クモ&トンボの不思議な生態・・・・・・・・・・ 2 回
- ⑤ 東海地区の湿地の成り立ちと植生・・・・・・・・・・ 1 回
- ⑥ 東海地区の 2 つの極相林：ブナ林とシイ・カシ林・・・・・・・・ 2 回
- ⑦ 七宗町地質巡り・・・・・・・・・・ 1 回
- ⑧ シダ入門・・・・・・・・・・ 2 回

**広報**

- ◇担当 4 名
- ◇方針 積極的に新しい広報策を模索し実施する。
- ◇目標 他の科等との連携を強化し、定員 72 名確保を目指す。

◇計画内容

- ①ホームページのブログとお知らせ欄を随時更新する。
- ②募集パンフレットの発行数の変更・設置場所の開拓・デザインの手直し。
- ③メディアに投稿・取材依頼等を積極的に行う。(新聞社・テレビ局等)
- ④イオン・イエローレシートのキャンペーン活動に参加する。
- ⑤体験入学の実施 (2 回)

**② 普及啓発事業**

**環境教育部**

■環境教育科

- ◇担当 4 名
- ◇人数 35 名
- ◇方針

社会貢献することを目的とし、様々なインタープリテーション技術の取得、向上を目指す。また、利益を追及する事業のみではなく、利益につながらなくとも自身の向上や社会貢献価値のある事業を実施する。

◇今年度の目標

- ・目標① 過去の作品やその作り方手順・必要な材料などを整理して残す。
- ・目標② ワークショップの対象者の枠を広げる。
- ・目標③ 作り方指導だけではなく、素材そのものの説明や情報を伝える工夫をする。
- ・目標④ 当学園の広報に繋がる工夫を取り入れる。
- ・目標⑤ 新たな技術やアイデアを生み出すため、講習会や見学会などの時間をつくる。

◇計画内容

定例活動は毎月 2 回 (第 2、第 4 水曜日) とし、その他下記の活動を計画している。

日にち	行事名・施設名	場 所	主な内容	対象(人数)
4/14(土)	戸田川緑地『さくらまつり』	戸田川緑地 (名古屋市港区)	数種類の自然工 作ワークショップ	(天候次第)
4/15(日)				
5/25(金)	いーま守山	障害者支援施設	松かさのヒツジ	20 名
5/30(水)	いーま千種	障害者支援施設	松かさのヒツジ	7, 8 名

6/6(水)	いーま中川	障害者支援施設	松かさのヒツジ	10名
7/27(金)	大曽根商店街七夕まつり	大曽根商店街 (大曽根駅すぐ)	数種類の自然工 作ワークショップ (野外ブース)	1日平均
7/28(土)				70~100名
7/29(日)				(天候次第)
10/6(土)	戸田川緑地『秋まつり』	戸田川緑地 (名古屋市港区)	数種類の自然工 作ワークショップ (野外ブース)	1日平均
10/7(日)				70名~100名
10/8(月)				(天候次第)
10月~3月 (全4回)	なごや環境大学	—	—	—
11/16・17	学園祭	モリコロパーク	展示・ワークショップ	—

## 研究部

### ③ 調査研究事業

#### ■自然観察科

自然観察と自然に関する座学テーマについて、自分自身の学習意欲を高め、(リーダーとして)社会貢献することを目的に、それぞれのコースにて学習・研究・実践を行う。

#### レギュラーコース

◇実施日 第2・4月曜日

◇担当 2名

◇人数 28名(新規12名)

◇目標 お互いに学びあい知識を深める。

#### ◇活動内容

- 年21回の活動日数。

昨年同様4班体制で、各班、座学2回・フィールド3回の計画。

- 座学発表テーマ

・自然の不思議、身近な自然、中部の自然、私が不思議に思うこと、フィールド観察会に関わること。

- フィールド

春 ・4月 山路の森、 ・5月 王滝渓谷、海上の森、

夏 ・7月 猪高緑地、伊吹山 ・9月 段戸裏谷、七宗ロックガーデン、

秋 ・10月 築水の森、海上の森、 ・11月 海上の森、

冬 ・1月 勅使池 ・3月 藤前干潟

- キャリアコースと合同懇親会 8月

- 座学回数は、議論があるので、これを継続する。

#### キャリアコース

◇実施日 第2・4月曜日

◇担当 1名

◇人数 27名

◇目標 お互いに学び合い知識を深める。

#### ◇実施事項

フィールド15回、天白公園観察会6回(下見も含む)、基礎科講座「冬の森の観察」を、築水の森にて4回(下見、リハーサルも含む)実施する。

・4月 平和公園、竜吟の森

- ・ 5月 天白公園観察会 小幡緑地
- ・ 6月 陶史の森 城山
- ・ 7月 天白公園観察会 伊吹山
- ・ 8月 合同講座
- ・ 9月 海上の森 段戸裏谷
- ・ 10月 天白公園観察会 阿寺溪谷
- ・ 11月 山路の森
- ・ 12月 未定
- ・ 1月 受託講座下見・リハーサル
- ・ 2月 受託講座
- ・ 3月 木曾川河畔

## ④政策についての企画提案事業

### 事業部

#### ■新規事業科

◇担当 4名（必要に応じ増）

◇内容

1. 学園が持つ潜在力量の把握・整理
  - ①OB アンケート調査からの情報整理およびOBの皆さんとの意見交換：9月頃予定で計画
  - ②学園の関係する活動実績整理
2. 助成金獲得活動
  - ① 過去、森林公園整備活動、瀬戸里山整備活動で助成を獲得し実績を挙げた。今後は人材育成も含めた活動への助成も検討したいがハードルは高い。このためにも、1項の学園が持つ力量の把握・整理が必要。
  - ② 愛知県など自治体の助成金も調査して行く。
3. 渉外活動の強化
  - ①「JA なごや」との継続的な接触をはかる。
  - ②愛知県、名古屋市とのつながり検討
  - ③賛助会員獲得に関する検討

### 交流部

◇担当 4名

◇年間目標

- OB会員の活性化、親睦を目的とした企画を考案し実施する。
- クラブが安全、健全に実施されるよう活動を把握し助言する。

◇実施内容

- OB旅行を企画実施する。
- クラブ長会議を開催する。（7月中旬）
- 新たなクラブ設立を呼びかけ、クラブを増やす。

◇各クラブの活動計画

「野鳥クラブ」

- クラブ長 加藤 辰夫（11期生） 登録人員（34名） 会費1,000円／年
- 活動方針
  - ・探鳥会を年に四回開催を計画する、
  - ・野鳥観察への興味を深めるため、第2回野鳥講座（座学）を企画する、
  - ・秋の学園祭にクラブとして出展するための準備を夏ころから始める。
- 活動計画

○5/20「岩屋堂公園」 ○8月「第2回野鳥講座」 ○12月「庄内緑地公園」

○1月「藤前干潟」 ○3月初「荒池緑地」・総会

### 「写真クラブ」

●クラブ長 嶋田 茂雄（9期生） 登録人員（57名） 会費1,000円

#### ●活動方針

- ・自然の景観・生物、これを取り巻く生活環境等を撮影し作品作りを楽しむ。
- ・活動への参加を通じて会員相互の交流と親睦をはかる。

#### ●活動計画

○4/18「犬山国際センター・犬山城他」 ○5/9「安城デンパーク」  
○5/23「初歩の写真教室」 ○5/30「なばなの里」 ○6/15「東山動植物公園」  
○7/24～29「第2回写真展」 ○8/1「比叡山ガーデンミュージアム・水生植物園」  
○10/10「京都植物園」 ○2/14「名古屋港水族館」

### 「自然体験クラブ」

●クラブ長 長田 孝義（12期生） 登録人員（60名） 会費1,000円

#### ●活動目的

自然の中で遊び・学び、自然への理解を深め、或いは歴史・文化に触れることを通じて、豊かな人間性、心のかよった人と人のつながりを創り、人と自然が共存する文化・社会の意識を高めることを図る。

#### ●活動

- ・様々な自然の中で遊び、自然を分かち合う。
- ・野菜・山菜・木の実・魚介類等の自然の恵みに感謝する。
- ・歴史・文化・自然に関する史跡・遺産等の訪問。
- ・その他目的を達成するための活動。

#### ●活動計画

年4回、第3木曜日が基本。

○5/17「総会と赤沢自然休養林」 ○9/20「小原和紙の里」  
○11/29「そば打ち体験と岩村城址」 ○2/21「おっばらの冬」

### 「地質クラブ」

●クラブ長 福岡 潔（8期生） 登録人員（71名） 会費1,000円

#### ●活動方針

- ・近隣の地質の成り立ちその影響を観察する。

#### ●活動計画

- ・年4回近隣の地質、地層を現地観察する、
- ・博物館を訪問し、岩石や化石の勉強をする。

### 「植物クラブ」

●クラブ長 知久 弘子（13期生） 登録人員（82名） 会費1,000円

#### ●活動方針・目標

- ・全員が観察会（年7回）へ参加し易い環境づくりに努める、
- ・五感で感じる観察会をめざす。

#### ●活動計画

○4/5「春日井築水の森」 ○5/2「明智の森」 ○6/18「白山高山植物園」  
○7/30「駒ヶ根千畳敷」 ○8/30「伊吹山」 ○10/16「昭和の森」  
○3月「東山植物園」・総会

### 「植物アートクラブ」

●クラブ長 松崎 隆（13期生） 登録人員（20名） 会費1,000円（花代別途2,000円）

#### ●活動方針・目標

- ・絵を描くことに基礎はありません、絵を描きたいという気持ちが基礎です、従って描いた絵の評価は自分自身でしか出来ません。完成した絵は、毎日見ているいろいろなことを考え、感じて楽しむことです。

●活動計画

- ・植物の特徴をとらえ、それを描くことにより表現の楽しさを知る。
- ・月毎の課題に沿って作品を仕上げる。
- ・全員の作品を鑑賞し、講師の講評・助言を通し作品の質を高め、また親睦を図る。

●活動予定

- 4/26 「29年度発表会・総会」
- 5/24 「野外でスケッチ・徳川園」
- 6/28
- 7/26
- 8/23
- 9/27
- 10/25
- 11/15
- 12/27
- 1/24
- 2/28
- 3/28 「発表会・総会」 他に親睦会を予定

「ふふふ キラキラクラブ」

- クラブ長 清水 修(7期生) 登録人員(45名) 会費1,000円

●活動方針・目標

活動の目的であります『ふふふ』の笑顔を持って会員相互の交流と親睦をはかり、『キラキラ』と輝く人生を見つけましょう。

●活動計画

- 6/30 「桑名市六華苑」
- 9月末 「木曾川昼鵜飼」
- 2月 「早春の里山散策」

「自然句詠クラブ」

- クラブ長 本田 俊一郎(10期生) 登録人員(24名) 会費1,000円

●活動方針・目標

- ・自然を愛(め)で、その感動を575(俳句)に表現し楽しむ。
- ・メンバー全員が何らかの役割を担い、クラブの運営に主体的に参画する。

●活動計画

- ・月1回(月末)、句を持ち寄り句会を実施する(互いに講評し合う)、
- ・句会実施日に終了後、希望者で反省懇親会を実施する、
- ・句会のうち、年3回程度、吟行(現地に赴き作句し句会を実施)を行う、
- ・一年のまとめとして句集を編集する。

「湿地クラブ」

- クラブ長 原田 誠(9期生) 登録人員(37名) 会費1,000円

●活動目標

- ・「陶史の森」の湿地定点観察会(湿地動植物および昆虫)
- ・その他観察会(特徴のある湿地の観察)

●活動計画

- 4/11 「陶史の森」
- 6/15 「陶史の森」
- 7/18 「計画中」
- 9/21 「陶史の森」
- 10/15 「計画中」
- 1/17 「計画中」

「ハイキングクラブ」

- クラブ長 栗田 博之(13期生) 登録人員(69名) 会費1,000円

●活動方針

- ・自然観察及び散策、町の歴史探訪を通して自然や歴史にふれあい知識を高める。
- ・体力の維持及び増進。
- ・活動への参加を通じて会員相互の交流と親睦をはかる。

●活動計画

- 5/7 「竜吟の滝」
- 10/11 「有松宿・桶狭間」
- 12/1 「愛岐トンネルと定光寺」
- 3/26 「岡崎城と城下町散策」

## ⑤自然環境保全事業

### 自然保護部

#### ■森林公園整備科

- ◇活動日 第2・第4木曜日 年間20回実施目標
- ◇科員数 31名
- ◇活動内容
  - ①整備地(8.2ha)の内A地区の森林整備を予定
  - ②A地区整備地の植生調査を行う
  - ③除伐作業内容
    - 1) 除伐にあたり植生調査に基づいた整備計画を基本とする。  
また、希少植物を保護すると共に、下草にも配慮する。
    - 2) 安全作業マニュアルを徹底し、安全第一で作業を行う。  
安全作業の基本となるロープワークを学習する。  
また、ヒヤリハット活動を充実させる。
    - 3) 作業の中に植生、昆虫などの勉強を取り入れる。
    - 4) 外部講師による安全等の講習会を行う。

#### ■瀬戸里山整備科

年間計画をリーダーを中心として作成し、竹林部分、雑木林部分の作業日を意識して設定し実施する。急斜面の作業が多いため、安全作業を最優先としていく。

- ◇担当 2名
- ◇人数 19名
- ◇実施日 第3土曜日、但し雨天の場合は、予備日第4土曜日
- ◇活動場所 瀬戸市曾野町
- ◇活動内容
  - ① 竹林部分、雑木林部分の活動日を設定し整備を行う。
  - ② タケの成長期間を年別に分類し印をつけ、優先順位を付けた活動を行う。
  - ③ 定点観測の実施を行い、作業の進捗状況、整備後の成果をつかむ。
  - ④ 科員の増員、科員の親睦を図る。
  - ⑤ 安全作業を最優先とし、作業前、作業後のヒヤリハットの徹底

## ⑥その他目標を達成するために必要な事業

該当事業計画なし

平成30年度収支予算計画

平成30年度活動予算書  
(平成30年4月1日から平成31年3月31日)

特定非営利活動法人 東海自然学園  
(単位:円)

科目	金額		備考
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費			
正会員受取会費	130,000		正会員 26名 利用会員440名
利用会員受取会費	1,320,000	1,450,000	
2. 受取寄付金			
受け取り寄付金	400,000	400,000	
3. 受取助成金収入			
受け取り助成金	0	0	
4. 事業収入			
自然活動リーダー養成講座授業収益	10,567,000		
普及啓発事業収益	300,000		
調査研究事業収益	0		
政策についての企画提案事業収益	50,000		
自然活環境保全事業収益	0		
その他事業収益		10,917,000	
5. その他収益			
雑収入	0		
受取利息	0	0	
<b>経常収益計</b>			12,767,000
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	3,570,000		
通勤手当	130,000		
法定福利費	630,000		
人件費計	4,330,000		
(2) その他経費			
謝礼金	1,700,000		
教材費	250,000		
会場費	400,000		
広報費	600,000		
リーフレット代	370,000		
講師交通費	80,000		
スタッフ交通費	1,700,000		
バス代	50,000		
消耗品費	260,000		
雑費	20,000		
家賃	900,000		
接待交際費	30,000		
水道光熱費	110,000		
コピー維持費	250,000		
保険料	400,000		
通信運搬費	650,000		
諸会費	10,000		
研修費	10,000		
その他経費計	7,790,000		
<b>事業費計</b>		12,120,000	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	170,000		
人件費計	170,000		
(2) その他の経費			
セキュリティ料	100,000		
旅費交通費	0		
事務用品費	10,000		
租税公課	230,000		
支払手数料	80,000		
雑費	10,000		
その他経費計	430,000		
<b>管理費計</b>		600,000	
<b>経常費用計</b>			12,720,000
当期経常増減額			47,000
<b>III 経常外収益</b>			0
<b>IV 経常外費用</b>			0
当期正味財産増減額			47,000
前期繰越正味財産額			7,541,718
次期繰越正味財産額			7,588,718

## <第5号議案> 定款変更の件

法改正にともない、定款の一部変更を提案致します。

### 《貸借対照表の公告について》

#### ●現在の東海自然学園の定款

(公告の方法)

##### 第55条

この法人のこの公告は、この法人の掲示場に掲示すると共に、官報に掲載して行う。

#### ●下記のように定款の変更を提案する

(公告の方法)

##### 第55条

この法人のこの公告は、この法人の掲示場に掲示すると共に、官報に掲載して行う。

ただし法第28条の2第1項に規定する貸借対照表の公告については、主たる事務所の掲示場所に掲示して行なう。

## <第6号議案>

### 平成30年度役員選任

平成30年度の役員として下記の方を選任致します。

#### 平成30年度役員

- ・ 代表理事 横井 進
- ・ 筆頭理事 大熊 琢巳
- ・ 理事 上田 元己
- ・ 理事 古田 雅子
- ・ 理事 浅井 留美子
- ・ 理事 小田 光生
- ・ 理事 吉村 至衛
- ・ 理事 伊藤 準二
- ・ 理事 福岡 潔
- ・ 理事 吉田 誠司
- ・ 理事 朝田 泰
- ・ 理事 森下 保男
- ・ 監事 藤田 昌大

## その他報告事項

上記役員以外の平成 30 年度正会員

- ◆ 佐合 ひとみ (7期生)
- ◆ 高島 裕美子 (9期生)
- ◆ 札幌 真理子 (10期生)
- ◆ 藤原 純子 (10期生)
- ◆ 岩田 敏子 (11期生)
- ◆ 胡内 友文 (11期生)
- ◆ 近藤 典子 (11期生)
- ◆ 中野 治男 (11期生)
- ◆ 吉川 卷子 (11期生)
- ◆ 堀部 和裕 (12期生)
- ◆ 森 静枝 (12期生)
- ◆ 鈴木 好則 (13期生)
- ◆ 林 昌子 (13期生)